



## Yamaka Topics ヤマカトピックス

## 近大 ウナギ人工ふ化成功

近畿大水産研究所は同大で初めてニッポンウナギの人工ふ化と初期飼育に成功しました。今後は完全養殖の実現とエサの開発を進めます。完全養殖は世界で初めて水産研究・教育機構が成功していますが、まだ商業化されていません。同大もふ化までは成功しているものの仔魚がエサを食べず、研究は休止状態でした。同大研究所はエサの開発に特化し、従来のサメの卵の使用を一切せず、一定の資源に依存しない形をとっています。早ければ3年後で技術を確立できるとしています。



## 寒ブリ 今期豊漁を予想

石川県水産総合センターは今期の寒ブリ水揚げは全年を2割上回る豊漁と予想しています。過去10年の平均水揚げ量を4割も上回るとのこと。富山湾内の水温が高く、能登半島北西沖が低いと寒ブリの水揚げが多くなるそうで、今年はその傾向が強いそうです。先月、ブリの幼魚の水揚げが順調とありましたが、ブリの水揚げについては逆の動きをすることが多いことから、関係者の間では今年の水揚げを心配する声もあっただけに豊漁の予測に安堵しているようです。



## 入荷状況&amp;商品情報

## 12月のさかな

ズワイガニ

コウバコガニ

ブリ ◎

タラ ◎

甘エビ ◎

ナマコ ◎

フグ(ムキフグ)

カキ

ヤリイカ

アンコウ



今年も地物タラが早めの入荷です。身質はしっかりしていますが、白子や真子の成熟が今一つ。生食用にはもう少し時間がかかりそうです。地物ブリは12月から1月が漁の最盛期となります。本年は豊漁が期待できそうです。能登ぶりは4kg以上7kg未満を小ブリ、7kg以上をブリとし、10kg以上は「のと寒ブリ」としてタグ付けされます。

地物ズワイガニは昨年並みの入荷です。富山県以西の海域の資源量も前年並みと見積もられていますので今のところ安定か。また、香箱ガニの入荷は昨年実績を下回り低調です。いずれの入荷も天候に大きく左右されますので、計画的発注をお勧めします。

11月後半はカニ漁場に集中していた漁も落ち着き、甘エビやカレイなどの底引き網漁の魚種が平常通り入荷してきました。その他、定置網ガンド、フクラギ(ブリの子)やアオリイカ、ヤリイカが潤沢に入荷しています。ナマコは潤沢に入荷しています。能登産は身質が柔らかく酢の物に最適です。